



茨城県

2月号 平成28年2月1日
発行 茨城県 編集 広報広聴課
〒310-8555 水戸市笠原町978番6
TEL 029-301-1111(代表)
TEL 029-301-2128(直通)
FAX 029-301-2168



第2回 いばらきっ子郷土検定 県大会

特別協賛 ㈱常陽銀行 茨城県信用組合 J.A.茨城県中央会 茨城トヨタ自動車㈱ 茨城トヨペット㈱

問題

西山荘は、水戸藩第2代藩主徳川光圀の隠居所ですが、西山荘がある市町村はどこでしょう。



白熱した県大会(平成27年2月7日実施)①



昨年度の優勝校・県立日立第一高等学校附属中学校の皆さん



白熱した県大会②

ひばり

コミュニティいばらき
**私たちの郷土
いばらきを知ろう!**
..... P2~3

いばらきクローズアップ
**地域医療を救う!
若手医師を育成しています**
ほか
..... P4~5

なつかしいいばらき
**斉昭公によって造られた
偕楽園と弘道館**
..... P8

☎ 県生涯学習課 ☎029(301)5322

今後、子どもたちをはじめ、県民の皆さまに郷土いばらきの素晴らしさをご理解いただき、愛着と誇りを持っていただけるよう取り組んでまいります。

本県は、豊かな自然と広大な大地に恵まれ、貴重な文化財や地域に根差した伝統文化が脈々と受け継がれてきました。また、全国第2位の農業産出額や最先端の科学技術の集積など、全国に誇れるものが数多くあります。

こうした本県の魅力を子どもたち自らが発信していくためには、生まれ育ったふるさとに愛着と誇りを持つことが大変重要です。

このため県では、全国初の取り組みとして、県内全ての中学2年生を対象に、楽しみながら本県の自然や歴史、文化などを学ぶことができる「いばらきっ子郷土検定」を実施しているところです。

私たちの郷土いばらき



茨城県知事
橋本 昌

2

2016

茨城県広報紙

私たちの郷土 いばらきを知ろう！

～いばらきっ子郷土検定～

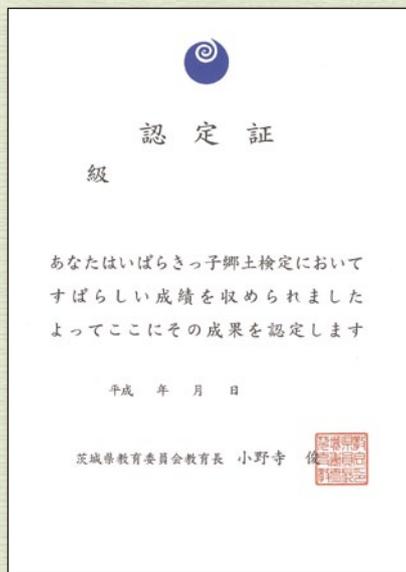
県では、中学2年生を対象に、本県の伝統や文化などを楽しく学ぶことができるよう、独自の郷土検定を実施しています。今回は、その取り組みを取材しました。



いばらき女性特派員
岩本 恵美子
【プロフィール】
筑西市在住 趣味:語学



県生涯学習課 ☎029(301)5322



このような認定証がもらえます

県生涯学習課鈴木猛社会教育主事にお話を伺いました。

？ いばらきっ子郷土検定とは？

この検定を始めた背景には、子どもたちが郷土の伝統や文化に接する機会が少なくなってきたことや、地域のつながりの大切さが見直され、郷土意識や地域社会の連帯意識を醸成することが求められたことにあります。このため、本県の伝統や文化などを楽しみながら学ぶことができる独自の取り組みとして、全国でも例のない「中学2年生全員」を対象にした「いばらきっ子郷土検定」を実施しています。出題される問題は、本県の良さがわかる内容が基本となっており、歴史や文化、生活、各産業などバリエーションを考慮して選ばれます。検定には、正答数に応じて認定証が交付される個人部門と代表校が競う団体部門とがあり、団体部門は、市町村大会を経て12月に45校（44市町村の代表校と国立・県立・私立の代表1校）が決定し、2月に県大会が実施されます。

？ 大会2連覇を目指して

昨年度の優勝校・県立日立第一高等学校附属中学校の宇佐美毅教頭先生と細貝雅之先生に、今大会にかける思いと取り組みについて伺いました。

開校4年目の本校は、科学教育と国際教育を大きな柱としていますが、同時に郷土愛を育むことも重要視しており、郷土検定に積極的に取り組んでいきます。2連覇のかかる今年度も、まず市町村大会を勝ち抜かなくてはなりません。盛り上がる会場や先輩の頑張る様子を撮影した前回大会のビデオを見せ、生徒の志気を高めるとともに、小テストやクラスでの早押しトーナメント大会の開催など、ゲーム感覚で覚えられるよう工夫をしました。また、校長先生自らが日立市の歴史について講義してくださいました。ことで、より深く理解できたのではないかと思います。こうした取り組みと生徒の頑張りがあって、良い成績で県大会出場を決めることができました。

県大会に出場する5人は、昨年度と同様、理科の先生お手製の早押しボタンを使い、前回の優勝メンバーの特訓により、本番さながらの練習をします。『先輩が後輩を指導する』という、学年を越えた良い関係がこれからも続いていくことを願っています。どんなチームになるか、今大会を楽しみにしています。



？ 県大会に向けての意気込み

それぞれ部活動を頑張っている、小テストなどで好成績を収め、県大会に出場する5人の生徒さんにお話を聞きました。

まず、この検定についてどう思っているかを尋ねると、「自分の住む地域はもちろん、地域以外のことも知ることができてよかったし、面白い」「より深く学べたこと、自分の身の回りにもいろんな歴史があることを知り、いっそう茨城が好きになった」という答えが返ってきました。勉強方法については、配られた練習問題を何枚もコピーして繰り返し返す、インターネットの過去問や暗記カードを利用する、図書室で調べる、自分なりにまとめて関連付けて覚えるなど、それぞれが工夫をこらし、意欲的に取り組んでいるそうです。そんな5人の、学校の代表に決まったときの気持ちと、県大会に向けての意気込みを紹介します。



岩本女性特派員の質問に答える生徒たち

秦野くん 「うれしかったことと、どうして僕なんだろうという驚きもあった。キャプテンとしてチームを引っ張っていきけるよう頑張る。」

安藤さん 「うれしかった反面、頑張らないというプレッシャーを感じる。キャプテンを支えていけるよう頑張る。」

福島さん 「自己採点あまり良くなかったので選ばれるとは思っていなかったが、うれしいしプレッシャーもある。先輩たちが優勝しているのだから続けるよう頑張る。」

神吉くん 「社会が好きだったので選ばれてうれしかった。2連覇にむけてのプレッシャーは大きいですが、キャプテンを支えられるよう頑張る。」

渋谷くん 「選ばれた時は驚いたが、今は2連覇のプレッシャーがある。分からない問題もあると思うが、チームの足を引っ張らないよう頑張る。」

2月13日の県大会は、白熱した試合が繰り広げられることでしょう。

？ 取材を終えて

私も郷土検定にチャレンジしてみました。惜しくも認定証には届きませんでしたが、意外な歴史や文化を知ることができ、面白かったです。何度でもチャレンジできるので、きちんと勉強をして再度チャレンジしてみようと思います。

県大会に出場する中学生の皆さん、2月13日は最高のパフォーマンスができるよう、頑張ってください！
そして、中学生以外の皆さんも、ぜひチャレンジして郷土茨城について知っていただきたいと思います。(岩本恵美子)

市町村大会を勝ち抜いた45校が競う 平成27年度 第3回いばらきっ子郷土検定県大会日程

日時：2月13日(土) 10時～15時40分
会場：県立県民文化センター大ホール(水戸市千波町東久保697)
参加校：44市町村の代表校1校(44校)と、国立・県立・私立の代表校1校の計45校
出場者：各中学校5人
実施内容：クイズ形式のトーナメント方式

- 1回戦** 各5校の対抗戦により、1位校が準決勝に進出(記述式3問、早押し2問の計5問により正答数を競う)
- 敗者復活戦** 1回戦敗退の36校を3ブロックに分け、上位2校、計6校が準決勝に進出
- 準決勝** 各5校の対抗戦により、1位校が決勝に進出(記述式1問、早押し式4問先取)
- 決勝** 3校の対抗戦により、順位を決定(早押し式、5問先取)

入場無料ですので、ぜひ会場に足を運んでみてください！

郷土検定のウェブサイトから、 どなたでもチャレンジできます！

県教育委員会ホームページに、「郷土検定」のウェブサイトを開発しています。ウェブサイトでは、自動で採点することができ、認定証も印刷できます。

「いばらきっ子郷土検定」で検索



平成27年度事前練習問題から…

1. 県内で標高が一番高い山は何でしょう。
①筑波山 ②加波山
③高鈴山 ④八溝山
2. 本県の海岸線の距離はどのくらいあるでしょう。
①約150km ②約190km
③約230km ④約270km
3. 本県2回目の開催となる国民体育大会は何年に開催されるでしょう。
①2017(平成29)年
②2018(平成30)年
③2019(平成31)年
④2020(平成32)年

地域医療を救う！ 若手医師を育成しています

「若手医師教育研修立県いばらき」づくり

県では、医療対策課内に地域医療支援センターを設置し、全国の若手医師や医学生を対象とした、さまざまなキャリア形成支援事業を実施しています。

筑波大学や県内各医療機関、県医師会および県内指導医の方々と丸となつて、「若手医師教育研修立県いばらき」づくりに取り組み、本県の地域医療を担う医師の育成、定着を図っています。



若手医師育成のため、具体的にどんなことをしているの？

- 県内に就職した新初期研修医を対象に、本県の医療状況等への理解を深める「**新初期研修医合同研修会**」を実施しています。



新初期研修医合同研修会 (平成27年4月県庁講堂)

- 若手医師に対しては、総合的な診療能力を磨く「**総合診療を学ぶ特訓ゼミ**」のほか、海外の医療現場への派遣研修、シミュレーション設備を使ったチーム医療研修、最先端シミュレーション機器を県内病院に巡回させて実施する医療技術研修、救急医療や超音波装置の技術研修などを実施しています。



総合診療を学ぶ特訓ゼミ



知事へ「総合診療を学ぶ特訓ゼミ」の報告をする県地域医療支援センター特別講師徳田安春医師(右)、米国コーネル大学教授リチャード・ヒルラー氏(左)

- 中堅医師に対しては、指導医としての一層の技術向上のため、「**米国・沖縄への派遣研修**」を実施しています。



米国への指導医団派遣研修

医師を志す学生などに対しては、どんなことをしているの？

- **地域医療医師修学資金貸与制度 (地域枠)**

将来、知事が指定する県内医療機関で働くことを条件とした「**医師修学資金**」を**医学生**に貸与しています。

◎例年、8月初旬に医学部受験生および保護者の方を対象に説明会を開催しています。

- **高校生病院見学会・医師による高校訪問**

医師を志す県内高校生が医学への興味と本県の医療状況への理解を深め、医学部進学者が増えるよう、病院見学会や医師による講演などを実施しています。

問 県地域医療支援センター(県医療対策課 医師確保対策室内) ☎029(301)3191

心豊かな生活といつまでも活力に
満ちあふれた地域社会の実現のために

「茨城県文化振興条例」を 制定しました

何のために制定したの？

人々の価値観の多様化が進む中、人と人との絆の大切さが再び強く意識されるようになり、物の豊かさに加えて心の豊かさを楽しみ、潤いに満ちた生活を実現するためには、文化の力を活用していく必要があります。
このため、県民一人一人が主役となって、本県文化のより一層の振興を図ることを目指し、昨年12月に文化振興条例を制定しました。

私たちは何をしたらいいの？

文化振興の主役は県民の皆さんです。自主的かつ主体的に文化活動に取り組み、心豊かな茨城の文化を創造し、発展させていきましょう！

県では何をやるの？

県では、今後、文化振興計画を策定し、

- 文化を担う「人材の育成等」
- 芸術や伝統文化などの「文化の振興」
- 文化財などの「文化的資産の活用等」
- 鑑賞・参加機会の提供などの「文化活動の充実」
- 「文化活動の支援体制の充実等」の5つの視点で、文化振興施策を実施していきます。



50回目を迎えた平成27年度茨城県芸術祭美術展覧会会場の様子

☎ 県生活文化課 ☎ 029(301)2824

日本情報オリンピック本選 ※大会は非公開

- 開催日程 / 毎年2月(平成28年～) ※今年は、2月13日(土)・14日(日)
- 会場 / つくば国際会議場
- 参加者 / 予選(12月にウェブ上で実施)を勝ち抜いた約75人
- 競技内容 / 課題解決のための手順(アルゴリズム)をプログラミングし、性能(効率や解の質)を競う。
- 主催 / 特定非営利活動法人 情報オリンピック日本委員会(共催:茨城県、つくば市)

国際情報オリンピックの代表選考を兼ねた「日本情報オリンピック本選」が、今年2月以降、毎年つくば市で開催されることになりました。また、情報分野で各国の代表が競う「国際情報オリンピック2018」も、日本で初めてつくば市で開催されます。



日本情報オリンピック本選の様子

日本情報オリンピック本選と 国際情報オリンピック2018 の開催が決定しました

国際情報オリンピック2018

- 開催日程 / 平成30年9月
- 会場 / つくば市内
- 参加者 / 各国の予選を勝ち抜いた代表選手約320人(約80カ国×4人)

☎ 県科学技術振興課 ☎ 029(301)2532



Q 茨城県の名産物である納豆や醤油、煎餅や梅ワインなどを海外に販売してはどうか。
(茨城県・男性)

A 県産品の海外での販売につきまして、ご提案いただきありがとうございます。
ご提案のありました納豆、醤油などの県産品については、県内事業者が輸出に取り組んでおり、県も海外向けの商品開発や海外展示会の出展支援を行っています。

今年度は新たに、専門家(輸出拡大支援員)を東南アジアなどへ派遣し、海外展示会などにおける商談支援に加え、出展後の海外バイヤーなどへのフォローアップを充実させ、海外における販売先の確保をきめ細かく支援しております。今後も、「ジエトク茨城」など、関係機関と一層の連携を図り、海外における県産品のさらなる販路拡大に取り組んでまいります。

☎ 県産業政策課

☎ 029(301)25220

☎ 県販売流通課

☎ 029(301)25050

お知らせ ひるば

問……問い合わせ先

申……申し込み先

HP……ホームページ



催し物

茨城がん学会県民公開講座

がん・糖尿病・肝臓病などを専門とする医師が、生活習慣とがんをテーマに県民公開講座を開催します。(参加費無料)

日時▶2月7日(日) 13時40分~16時

会場▶茨城県メディカルセンター
(水戸市笠原町489)

問 県保健予防課 ☎029(301)3224

HP 「茨城がん学会」で検索

不法投棄防止・リサイクル推進県民フォーラム

不法投棄の防止やリサイクル活動について学べるフォーラムを開催します。(参加費無料、要事前申し込み)

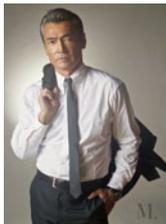
日時▶2月12日(金) 12時30分~16時30分

会場▶小美玉市四季文化館「みのーれ」
(小美玉市部室1069)

締め切り▶2月5日(金)

内容▶

「ごみ拾いジョギング」が日課の俳優・渡辺裕之氏による講演、ごみの散乱防止ポスターコンテスト入賞者表彰、環境美化活動事例発表、県警察音楽隊による記念演奏ほか



渡辺裕之氏

問・申 県廃棄物対策課 ☎029(301)3033

ワーク・ライフ・バランスシンポジウム

ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の取り組みを推進するため、シンポジウムを開催します。(参加費無料)

日時▶2月15日(月) 13時30分~

会場▶ホテルレイクビュー水戸
(水戸市宮町1-6-1)

内容▶○基調講演: 渥美由喜氏
(厚生労働省イクメンプロジェクト推進委員会委員)

○パネルディスカッション

問 県労働政策課 ☎029(301)3635



第20回茨城県健康福祉祭「いばらきねんりん文化祭」

高齢者の創作による「わくわく美術展」と、世代間交流を目的に県内の小学生が描いた「ぼく☆わたしのおじいちゃん☆おばあちゃんの絵コンクール」を併せて開催します。(入場無料)

日時▶2月20日(土)~26日(金)
9時30分~16時(最終日は正午まで)

会場▶県立県民文化センター
(水戸市千波町東久保697)

問 茨城わくわくセンター(県社会福祉協議会内)
☎029(243)8989

問 県長寿福祉課 ☎029(301)3326

募集

~地域の安全と安心を守るため~ 消防団員として活躍しませんか

消防団は、災害発生時の消火・救助活動をはじめ、平常時においても災害を未然に防ぐための啓発活動など、幅広い活動を行っています。近年は、女性消防団員も増加しており、一人暮らしの高齢者宅への防火訪問や応急手当の普及指導などで活躍しています。詳しくは、各市町村消防担当または下記まで。



全国消防イメージキャラクター 消太

問 県消防安全課 ☎029(301)2896

案内

2・3月は茨城県フィルタリング普及啓発推進月間

インターネット上の有害な情報から子どもを守るため、「フィルタリング」を利用しましょう。スマートフォンなどの購入時には、「子どもが使えます」とお店の方に伝えてください。スマートフォンには、「スマートフォン用のフィルタリング」を設定する必要があります。ゲーム機や携帯音楽プレーヤーなどは、子どもに渡す前に、「保護者による使用制限機能」や「フィルタリング」を利用しましょう。

問 県女性青少年課 ☎029(301)2183

プレミアム商品券等のご利用はお早めに

県が発行する下記のプレミアム商品券等の有効期限は、**2月29日(月)**までとなっています。有効期限を過ぎた商品券等は無効となりますので、まだ利用されていない商品券等をお持ちの方は、忘れず有効期限内にご利用ください。

(対象となる商品券等)

・いばらき
プレミアム付き宿泊券



・いばらきプレミアム付き周遊券



・いばらきプレミアム
商品カタログ
~厳選いばらき
100story~



・茨城県産米専用
プレミアム付お米券



(宿泊券・周遊券)

問 県観光物産課 ☎029(301)3617

(プレミアム商品カタログ・お米券)

問 県販売流通課 ☎029(301)3966

広告

洋服の青山
AOYAMA TAILOR
SINCE 1964

T-POINT 貯まる! 使える!

茨城県内の店舗情報はコチラ

お得な情報はコチラから
<http://www.y-aoyama.jp>

洋服の青山 検索

茨城県の新生活を迎える皆さま
ご卒業・ご入学おめでとうございます!

洋服の青山は新生活を迎えるあなたを応援します!

プレッシャーズ応援フェア

店舗のご案内

土浦店	荒川沖店	牛久店	竜ヶ崎ニュータウン店	取手店
茨城守谷店	つくば研究学園店	茨城総和店	下館店	笠間店
水戸元吉田店	勝田店	茨城鹿嶋店	石岡店	茨城千代田店
日立南店	日立北店	水戸内原店	(営業時間: あさ10時30分~よる8時30分まで)	

プレッシャーズ限定 特別クーポン券

クーポン券有効期限 平成28年3月31日(木)迄

クーポン券をお持ちでないお客様は割引いたしかねますのであらかじめご了承ください。

プレッシャーズの方と同伴なら、ご家族の方もご利用いただけます。(但し、同時にお買い上げいただく場合に限りです)

メンズ プレッシャーズ限定 1着購入割引クーポン券 **半額**

値下げ前価格1着39,000円(税抜)以上の品

●サビロウ、ヒルトン
ブランドは除きます。

【有効期限】平成28年3月31日(木)まで

レディース プレッシャーズ限定 1点購入割引クーポン券 **20%OFF**

値下げ前価格1点2,900円(税抜)以上の品

【有効期限】平成28年3月31日(木)まで

【お申し込み】お一人1着につき、1枚のみご利用いただけます。●レディースは上下セットとスカートまたはワンピースの組合いで、1着購入クーポン券を利用いただけます。●他のクーポン券及び割引商品、他のセール、セットセールとの併用は出来ません。●本券は、お買上げ時に併せてお取りください。●クーポン券ご利用の際は、別途追加料金がかかります。●本券は、お近くの洋服の青山でご利用いただけます。

催し物ガイド



県自然博物館

第65回企画展「洞くつ探検 — 地下に広がるふしぎな世界 —」 2月20日(土)～6月12日(日)

長い年月をかけて自然がつくり出した洞くつは、外界と隔離された未知なる空間であり、人々を魅了する神秘的な世界です。本展では、多様な洞くつや生きものたちの生態などを紹介します。



幕状鍾乳石
(カーテン)

〈入館料〉一般740円、高・大生450円、小・中生140円
坂東市大崎700 ☎0297(38)2000 ㊟1999

県近代美術館

企画展「あした天気になーあれ♪ — 雨・晴・風の美術 —」 2月20日(土)～5月29日(日)

四季折々の変化に加え、天気によってその姿を大きく変える風景の味わいを、所蔵作品から選りすぐって紹介します。



小堀進「花と雲」1956(昭和31)年 寄託

〈入館料〉一般600円
高・大生360円、小・中生240円
(※水戸の梅まつり期間中
(2月20日(土)～3月31日(木))は無休)
水戸市千波町東久保666-1 ☎029(243)5111 ㊟9992

県陶芸美術館

企画展「いばらき工芸大全Ⅱ 金工の巻」 3月6日(日)まで

〈入館料〉一般720円、高・大生510円、小・中生260円
笠間市笠間2345(笠間芸術の森公園内) ☎0296(70)0011 ㊟0012

美術館・歴史館 博物館の利用案内 (県立図書館を除く)

- 各館の開館時間/9時30分～17時(入館は16時30分まで)
- 月曜休館
- 満70歳以上の方(健康保険証、運転免許証などを持参してください)、障害者手帳などをお持ちの方と未就学児は入館無料。
- 毎週土曜日は、小・中・高校生は入館無料(春・夏・冬休み期間中は除く)。

県天心記念五浦美術館

企画展「郷さくら美術館名作選 受け継がれる日本のこころ」 2月20日(土)～4月17日(日)

郷さくら美術館の所蔵品の中から選りすぐった、現代日本画家が描いた風景作品を中心に紹介します。



那波多目功「寂」
1995(平成7)年 郷さくら美術館蔵

〈入館料〉一般620円
高・大生410円、小・中生210円
北茨城市大津町椿2083
☎0293(46)5311 ㊟5711

県立歴史館

特別展Ⅱ「茨城の宝Ⅰ」 2月6日(土)～3月21日(月)



「常陸名所図屏風」右隻(個人蔵 奥州市武家住宅史料館寄託)

東日本で唯一、現在まで伝えられる「常陸国風土記」や、鹿島神宮の国宝「節霊剣(直刀)」をはじめとする神宝、県内各地の仏教関係文化財など、「茨城の宝」を紹介します。

〈入館料〉一般600円、大学生310円、高校生以下無料
水戸市緑町2-1-15 ☎029(225)4425 ㊟(228)4277

県立図書館

第14回読み聞かせコンクール

2月6日(土) 9時30分～16時(朗読部門) 2月27日(土) 9時30分～16時(自由部門)

ライブラリースhower

2月21日(日) 13時15分～14時35分

上映タイトル:「忍たま乱太郎 がんばるしかないさ」

「ハローキティとオズの魔法の国」

「おじゃる丸 ちっちゃいもの大きなちから」

〈参加費〉無料

水戸市三の丸1-5-38 ☎029(221)5569 ㊟(228)3583

■開館時間/火～金:9時～20時 土・日・祝:9時～17時

■2月の休館日(1、8、15、22、29日)

広告

春は進学・就職・転勤などの季節です

お引っ越しの際は、茨城県トラック協会の事業者にお気軽にご相談ください

- ◎お見積りは無料です
- ◎手付金(内金や前金など)はいただきません
- ◎引越管理者講習などでサービス向上に努めています



昨年から全日本トラック協会の「引越事業者優良認定制度」が創設されました。基準を満たして認定された事業所の車両には「引越安心マーク」のステッカーを貼っています。

一般社団法人 茨城県トラック協会

〒310-0851 水戸市千波町字千波山2472-5 TEL029(243)1422 FAX029(243)5936
ホームページ <http://www.ibatokyo.or.jp>

輸送相談所

東北支部(北茨城市).....0293-42-0664	県南支部(取手市).....0297-83-3511
日立支部(日立市).....0294-22-0510	水戸線支部(筑西市).....0296-22-4541
水郡線支部(大子町).....0295-72-0256	常陸支部(つくばみらい市).....0297-52-3138
常陸那珂支部(水戸市).....029-226-3341	古河支部(古河市).....0280-92-3341
水戸支部(水戸市).....029-300-0015	県西支部(坂東市).....0297-44-2157
石岡支部(石岡市).....0299-23-7811	鹿行支部(行方市).....0299-55-0155
土浦支部(阿見町).....029-887-1111	

なつかし・いばらき

今回は、2月20日(土)から「第120回記念水戸の梅まつり」が開催される偕楽園と弘道館をご紹介します。

斉昭公によって造られた偕楽園と弘道館

日本三名園の一つである偕楽園は、1842(天保13)年、領内の民と偕に楽しむ場所として水戸藩第9代藩主・徳川斉昭公によって造られました。

園内にある「好文亭」は、斉昭公自身が設計したもので、文人墨客や家臣、領内の人々を集めて詩歌や慰安会を催していました。1945(昭和20)年の空襲により焼失しましたが、1955(昭和30)年に復元工事に着工し、1958(昭和33)年に復元が完了しました。

“楽しむ場所”として造られた偕楽園と一対に、“文武を学ぶ場所”として造られたのが落校「弘道館」です。「教育によって人心を安定させ、教育を基盤として国を興す」という建学の精神のもと、学問・武芸はもとより、医学・蘭学・天文学など幅広い学問を取り入れ、江戸時代の総合大学ともいえる教育が行われていました。

幕末の藩内抗争や戦災での焼失を免れた正門・正庁・至善堂は、創建当時のまま現存し、国の重要文化財に指定されています。

偕楽園と弘道館は、昨年4月、文化庁が新たに創設した「日本遺産」に認定された「近世日本の教育遺産群—学ぶ心・礼節の本源—」(水戸市ほか3市合同)の主要な構成文化財となっています。

偕楽園と弘道館の懐かしい姿は、なつかし・いばらきの映像(QRコードの県だよりNO.22、NO.45)から、ぜひご覧ください。



観梅客でにぎわう偕楽園(昭和30年頃)



昭和の大修理前の弘道館(昭和30年頃)

☎ 県公園街路課 ☎ 029(301)4656



茨城空港フライトインフォメーション

1月30日(土)、中国国際航空の「茨城—杭州」を結ぶ国際定期便が新たに就航しました。

【運航ダイヤ】週2便(土曜・日曜)

	出発	到着
茨城 → 杭州	18:00	20:40
杭州 → 茨城	13:20	17:00

2月の広報広聴案内

テレビ

【磯山さやか旬刊! いばらき】

高田純次の

『じゅん散歩』内で放送

テレビ朝日 毎週金曜日
(午前10:25頃 2分間)

いばらき大使の磯山さやかさんが、県内の観光スポットなどを歩きつつ、茨城の魅力を紹介します。

5日 茨城のさつまいも 19日 水戸の梅まつり(前編) ※放送内容は変更される場合もあります。
12日 真壁のひなまつり 26日 水戸の梅まつり(後編)

火・水・木曜日(午前5:50~6:00の間) ※ダイジェスト版CM



散歩人・高田純次が“一歩一会”をテーマに、都内近郊を自由気ままに歩きます!

ラジオ

茨城放送(IBS)

AM1197kHz(水戸)・1458kHz(土浦・県西) FM94.6MHz(水戸)・88.1MHz(日立)

【ラジオ県だより~県民情報コーナー~】

県の施策や催し物のお知らせ(5分間)

月~金曜日 7:30 11:55 17:55 土曜日 11:55

【県政スポット】

県の施策をCM風に紹介(各時報前の20秒)

月~土曜日 8:00 10:00 18:00 日曜日 9:00 16:00



インターネットテレビ

【いばキラTV】

パソコンやスマートフォンなどで無料で視聴できます。

<http://www.ibakira.tv/>

フェイスブック・ツイッター

県からのお知らせを発信しています。

フェイスブック「茨城の魅力を伝えたい」

ツイッター@Ibaraki_Kouhou



フェイスブック



ツイッター

行政情報センター(県庁舎3階)

県の刊行物などを閲覧することができます。【開庁日の8時30分~17時15分】

声の広報「ひばり」

視覚障害者を対象に、「ひばり」の内容をテープ・CDに収録して貸し出しています。

☎ 県視覚障害者協会 ☎ 029(221)0098

県政についての意見・要望などは

県民相談センター(県庁舎3階) ☎ 029(301)2147 ㉨ 2169

✉ email@pref.ibaraki.lg.jp

または各地の県民相談センターへ

☎ 県北県民相談センター(常陸太田合同庁舎内) ☎ 0294(80)3322

☎ 鹿行県民相談センター(鉾田合同庁舎内) ☎ 0291(33)4110

☎ 県南県民相談センター(土浦合同庁舎内) ☎ 029(822)7010

☎ 県西県民相談センター(筑西合同庁舎内) ☎ 0296(24)9074

※法律相談(電話要予約)は、県庁舎3階の県民相談センターで受け付けています。